



知久養豚 信州くりん豚

大原の養豚団地で「信州くりん豚」を育てておられる、知久隆文さんにお話を伺いました。

Q 信州くりん豚の特徴を教えてください。

A 100%植物性飼料で育成しているため、あっさりとした味になっていて、特に女性と子供に支持していただいています。

Q くりん豚の名前の由来はなんですか？

A 由来は村花であるくりん草で、くりん草が育つ環境(きれいな水など)で育った豚であることを連想してもらいたいということで名付けました。



Q 最後に一言お願いします。

A 今後を見据えて、現在ひそかにキャラクターを作成するなど積極的にやっけていこうと考えています。村にも今以上にもっともっと支援のあり方を検討してみてください！

人・農地プラン 始動

「人・農地プラン」作成のため、年明けから(一部地区では年内から)各地区で意見交換会を開催していきます。

この話し合いでは、**地区の10年後**を地元の皆様と楽しく、本気で考え、夢のあるようなプランづくりをしていきたいと考えています。

そこで、今回の農業委員会通信では10年後の喬木村農業を担うであろう、元気な担い手の方をご紹介します。

人・農地プランとは？

地域の10年後を地域で考えて、そのためのプラン(計画書)を作成します。「地区のこの辺りに観光農園を作ればいいのか」というように大まかでも構いません。このプランは随時修正が可能ですので、家族みんなで参加して、自由に楽しく話し合いをしてプランを作成していきましょう！

「根も葉もあるにんにく」商標登録済

小川地区にんにく生産組合

9月号でもご紹介しました、小川区にんにく生産組合。12月3日に、にんにく植え付けの共同作業が実施されました。以前は大勢で2日間作業をしていましたが、にんにく植え付け機を借用したところ2時間で終了。大幅な省力化を実現！



新商品開発や商標登録など着実に6次産業化へ向けて邁進中！人・農地プランにおいて、小川地区はにんにくとイチゴで観光客を

集め、にんにくを喬木の代表的なお土産にしていくというようなプランも考えられる？

にんにく、下記のセミナーについて詳しく知りたいという方はにんにく生産組合までお問い合わせを。

第2回 6次産業化セミナー

2月23日(土)夜7時～ の予定

多数様のご参加をよろしくお願ひします

イベント情報



市田柿フェア

日時 12月22日(土)

場所 飯田市鼎東郷

みなみ信州農協みどりの広場

市田柿を使ったお菓子などを販売したり、料理の実演もあります。

いちご狩りスタート

今年もまたイチゴの季節になりました。

日時 1月12日(土)～

場所 交流センターにて受付

※詳細は各団体にお問い合わせ、ご確認ください。

良いお年を！